



終盤に差し掛かった東京オリンピック。欧州でのオリンピックへの関心は薄いという噂を実感している中、イタリアでは公共放送の Rai (Radiotelevisione Italiana) が中継を行うほか、朝晩のニュースでも競技場の様子が一部生放送で紹介されています。

8/1(日)の陸上種目での金メダル獲得など、後半にかけてイタリアでの注目も日増しに高まっている様です。

7/31 の女子バレーのイタリア(Azzurre) - 中国の試合終了はイタリア時間の 17 時。テレビ画面の右上には「Diretta」と表示されていたので生放送(日本 24 時)だと思います。行動規制もある中、過密スケジュールでの国際試合は本当に大変だと感じました。

せっかくの機会ですので、周囲に日本のイメージとオリンピックについて聞いてみました。あくまで参考程度のごく一部の意見ということで。



- ・相撲、歌舞伎、ゲイシャ、フジヤマというのは少し前のイメージ
- ・むしろ、ゲームやアニメ、マンガなどが新しい日本の文化
- ・歴史がある国だけど、未来のこと(新しい文化)に期待
- ・日本の地名は詳しくないけど、FUKUSHIMA は知っている
- ・反対デモをしてもコロナ感染が無くならないのに、集まった方がリスクが高いのでは？
- ・この環境下で開催を放棄せず、開会式を作り上げた日本は凄い！

今は情報が簡単に手に入るので、これまでの日本の印象も変わりつつあるのでしょうか。開会式でのドローンやプロジェクションマッピングの導入には驚かされましたが、直近に日本で開催されたオリンピック(1998 年)に比べてインターネット通信技術は大きく進歩しました。日本の情報も海外で入手可能な時代です。

となると、開会式で日本のことが紹介されても以前ほどの珍しさは薄れ、世界の人々が共感できる内容か否かが関心の一つになると感じました(素晴らしい伝統芸能を LIVE で観るのは別格です)。世界が小さくなり一つになろうとしている今、そのメッセージが日本から発信され伝わる舞台であって欲しいと願っています。

開会式でイタリアメディアの印象的だった反応(私が理解できた範囲)です。

- ・無観客で派手さはないが、木材と歌舞伎の伝統による調和と多様性が素晴らしい！
- ・バッハ会長のスピーチ後、解説者が「Grazie, grazie, **ありがとう!!**」とっていました。まさかの日本語にビックリです！
- ・大坂なおみ選手の登場には「senza mascherina!!」と驚きの声
- ・ピクトグラムは大ウケ
- ・でも、当日 19 時からの夜のニュースではイタリア選手団の入場や聖火について番組初めで触れる程度
- ・中でも、イタリア選手団が入場前の通路で国歌を歌って盛り上がっている様子が中心

そんなイタリア選手団のウェアはEA7。

初めて見た時はお腹にデザインされたトリコロールがドラ●もんの様に見えましたが、実は日の丸をイメージしたものだと知りました。さすがアルマーニ！EAのロゴTシャツを着ている人を年齢問わず近所でも見かけますので、やっぱり人気ブランドなんですね。

また、開会式の 아일랜드選手団のお辞儀や各国のジャージに入ったカタカナでの国名表示など、世界が日本に寄せてきてくれていることが分かります。アイルランドは先のラグビーW杯日本大会の参加国でもありますし。ホスト国としてのおもてなし、来日国の歩み寄り。相互にリンクして国際理解の深まる良い機会になればと思います。



暑い季節に様々な不安もある中、色々な想いで競技会に参加するために来日してくれている選手たち。コロナだったから見られた各国のマスク柄、無観客だからこそ聞こえた入場行進の音・競技中の声など全てがイレギュラーの大会です。

昨年 長野の新聞社では、長野オリンピックの県内地域別満足度のアンケート結果が発表され、満足度に地域差があることが明らかにされました。今回のオリンピックも全国民が納得する結果には至らないものの、自粛行動等によりコロナの死者を最小限に抑えている日本、危機に立ち向かった日本としての良い印象をここイタリアでも聞くことができれば、と閉会式に期待しています。

2021年8月5日